

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	国際交流費

所管課	通商課
事業名	国際交流促進事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	719	638		637			637	82
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	719		637			637	82
	一般財源	0	638		0			0

事業概要	友好都市である琿春市をはじめ、北東アジア諸国の都市間で友好交流を進める。	今年度見直し事項	単価の減等
事業目的	国際化の進展に対応し、市民の国際理解の高揚に努めるとともに、外国人が住みやすく活動できるまちづくりを進める。		
現状と背景	平成5年に中国吉林省琿春市と友好都市提携。両市間で訪問団派遣を相互に行うほか、木材研修生を本市が一次受入機関として受け入れている。また、韓国の束草市、東海市など環日本海諸国の都市との友好交流も促進されている。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	国際交流費

所管課	財政課
事業名	国際交流基金積立金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	119	88		88			88	31
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	119	88	88			88	31
一般財源	0	0		0			0	0

事業概要	国際交流の推進に賛同される市民などからの寄附金等を、国際交流基金に積み立てるものだが、当初予算では、基金の運用収入(預金利子)のみを計上している。 (参考)平成19年度末基金現在高 約5,800万円	今年度見直し事項	
事業目的	国際交流への指定寄附金等を国際交流基金に積み立て、境港市での国際交流の推進を願う市民等の意思の尊重と国際交流関連事業の安定的な実施を図る。		
現状と背景	境港市国際交流基金は、境港市における国際交流の推進に資するため平成2年度に設置している。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	国際交流費

所管課	通商課
事業名	環日本海拠点都市会議費
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	1,689	387		387			387	1,302
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	1,689		387			387	1,302
	一般財源	0	387		0			0

事業概要	日本・中国・韓国・ロシアの環日本海地域にある都市が一同に会し、環日本海地域の経済発展や都市間の友好交流について協議する。	今年度見直し事項	平成21年度の開催地は韓国浦項市の予定であり、平成20年度に米子市と共催だったことにより生じた費用弁償及び負担金が減少
事業目的	環日本海諸国の都市間の協議を通じ、本市の港湾及び空港を中心とした経済発展と都市間の友好交流を図る。		
現状と背景	平成6年より参加各都市の持ち回りで会議を開催し、環日本海地域の経済協力や参加都市間の人的交流の促進等について協議している。構成都市は、日本3(境港・米子・鳥取)、中国3、韓国3、ロシア3、計12都市。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	国際交流費

所管課	通商課
事業名	国際交流員招致事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	4,795	5,084		5,084			5,084	289
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	4,795	264	5,084			5,084	289
	一般財源	0	4,820		0			0

事業概要	友好都市である中国吉林省琿春市から国際交流員を招致し、中国・韓国との通訳、連絡調整をはじめ、交流活動の促進を図る。	今年度見直し事項	施設借上料の市負担分の引き下げ
事業目的	友好都市である中国吉林省琿春市から国際交流員を招致し、琿春市をはじめ中国との友好交流と市民レベルの国際交流の促進を図る。		
現状と背景	平成7年に受け入れを開始。平成21年度で12人目。中国語・韓国語の語学講座の講師や、中国・韓国との通訳や文書の翻訳を務めている。また、民間交流団体や学校等が実施する国際化・異文化理解のための交流行事等へ参画している。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	国際交流費

所管課	通商課
事業名	鳥取県西部地区日韓親善協会会費
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	30	30		30			30	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	30		30			30	0
	一般財源	0	30		0			0

事業概要	日本・韓国間の市民レベルの友好交流事業を実施する鳥取県西部地区日韓親善協会の会費	今年度見直し事項	
事業目的	日本・韓国間の友好交流の推進を図る。		
現状と背景	日韓親善協会では、小中学校生の相互訪問、ホームステイ事業をはじめ、韓国映画開催などイベント等により韓国文化の紹介などを通じて多文化共生の取り組みを進めている。境港市は鳥取県西部地区日韓親善協会理事。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	国際交流費

所管課	通商課
事業名	財団法人自治体国際化協会負担金(国際交流員)
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	99	108		108			108	9
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	99		108			108	9
	一般財源	0	108		0			0

事業概要	国際交流員を地方自治体に派遣する財団法人自治体国際化協会に対する負担金	今年度見直し事項	
事業目的	「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を推進する自治体国際化協会への負担金。国際交流員の傷害保険に対する負担金。国際交流員が来日するための渡航費用に対する負担金。		
現状と背景	地域における国際化を推進するため、昭和63年に設立。国際交流員や外国語指導助手等を地方自治体に派遣する「JETプログラム」を推進しているほか、地域における国際交流活動について情報収集・提供等を行っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	国際交流費

所管課	通商課
事業名	国際交流員渡航費用負担金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	54	53		48			48	6
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	54		48			48	6
	一般財源	0	53		0			0

事業概要	国際交流員が来日する際の渡航費用に対する負担金	今年度見直し事項	航空運賃の値上げ幅(想定)の引き下げ
事業目的	友好都市である中国吉林省琿春市から国際交流員を招致し、琿春市をはじめ中国との友好交流と市民レベルの国際交流の促進を図る。		
現状と背景	平成7年に受け入れを開始。平成21年度で12人目。中国語・韓国語の語学講座の講師や、中国・韓国との通訳や文書の翻訳を務めている。また、民間交流団体や学校等が実施する国際化・異文化理解のための交流行事等へ参画している。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	国際交流費

所管課	通商課
事業名	外国人生活ガイドブック作成事業
補助単独の別	補助

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	2,988		2,988		2,988	0	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他		2,988	2,988		2,988		0
	一般財源	0	0		0			0

事業概要	英語、韓国語、中国語、ロシア語の会話、生活習慣、施設等の概要等をまとめた冊子を作成し、本市在住の外国人や外国人観光客等に配布し、外国人の活動の円滑化を図る。	今年度見直し事項
事業目的	生活に必要な会話、マナー、施設概要等をまとめた冊子を作成し、本市に在住する外国人の利便性向上を図る。また、市民にもガイドブックを提供することで、外国人とのコミュニケーションの円滑化を図り、市民の国際感覚を養い、市民レベルの国際交流の促進を図る。	
現状と背景	貿易港がある本市には、以前からロシア人船員など外国人が多数来訪していたが、外国人研修生を受け入れる企業の増加に伴い、本市内に居住する中国人等も増加している。また、米子 - ソウル便や国際定期貨客船による韓国人観光客が増加が今後見込まれる。	その他